



日サ協第 200095 号

2020 年 9 月 24 日

関係各位

公益財団法人日本サッカー協会

国際サッカー連盟(以下、FIFA)のコリーナ審判委員会委員長から、2020年9月11日付文書をもって、「フットサル競技規則:第4条(競技者の用具)の改正について」通達があり、その日本語訳は下記のとおりになります。

通達の趣旨は、主にゴールキーパーが腕や膝を守るために着用するプロテクターの色は、他の競技者との識別、また、見た目の良さの観点から、シャツの袖やショーツの色と同じであるべきと考えられるが、現状様々な色のプロテクターの入手が容易ではないことから、一般的に用いられている黒や白の着用を認めるというものです。

この改正は、競技会が既に開始されている開始されていないにかかわらず、本通達をもって有効となります。各協会、連盟等において、加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に周知徹底を図られるようお願いいたします。

なお、実際の色の組み合わせ等については、別紙「日本協会の解説」で説明していますので、参考にしてください。

記

フットサル競技規則: 第4条(競技者の用具)の改正について

FIFA は、新しいフットサルの競技規則を発行したことを誇らしく考えている。FIFA のゴールは、常にフットサルという競技が進化し発展させることにあり、そこには競技者や審判員からの意見に基づき競技規則を改正することも含まれる。

このような考え方の下、第4条(競技者の用具)に関する意見を慎重に検討した結果、これをより広く適用できるように、規則の改正を承認することとした。

現在の第4条は、競技者の用具の見た目が適切に保たれるように書かれたものである。しかしながら、競技者の袖やショーツ(または、着用する場合はトラックスーツのパンツ)と同じ色のプ

ロテクターを探し出すのはなかなか難しいことであることが分かったことから、競技規則第 4 条をすべてのレベルのフットサルに対して弾力的に対応できるよう改正し、シャツの袖やショーツ（または、トラックスーツのパンツ）の色と合ったプロテクターが入手できない場合、黒と白の膝や腕のプロテクターも使用できるようにした。なお、黒や白のプロテクターはシャツの袖やショーツ（または、トラックスーツのパンツ）がどのような色であっても使用することができるが、プロテクターの色がシャツの袖やショーツ（または、トラックスーツのパンツ）の色と異なる場合、競技者が着用するすべてのプロテクターの色は黒か白のいずれかでなければならない。統一感や適切感が保たれるようにするため、黒や白のプロテクターを着用する場合、色が混在するような着用の仕方は認められない。

現在の文章：

「膝および腕のプロテクター

膝や腕のプロテクターを着用する場合、シャツの袖の主たる色と（腕のプロテクター）、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色（膝のプロテクター）と同じ色でなければならない。過度に大きなものであってはならない。」

新しい文章：

「膝および腕のプロテクター

膝や腕のプロテクターを着用する場合、シャツの袖の主たる色と（腕のプロテクター）、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色（膝のプロテクター）と同じ色でなければならない。色が合わせられない場合、シャツの袖やショーツ（または、着用する場合はトラックスーツのパンツ）がどのような色であっても、黒または白のプロテクターを着用することができる。シャツの袖またはショーツ（または、トラックスーツのパンツ）と色が合わないプロテクターを着用する場合、そのプロテクターはすべて同じ色でなければならない（黒か白で）。」

この改正は、すでに開始されている競技会も含め、即座に有効となる。

ご理解とご協力を賜りたく、お願いいたします。

敬具

国際サッカー連盟 審判委員会委員長
ピエールルイジ・コリーナ